授業科目名	経済学	科目コード	K0201P04
英文名	Economics		

科目区分	共存・共生へのアプローチ科目 - 社会理解		
------	-----------------------	--	--

職名	非常勤講師	担当教員名	小柳津 英知
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	木曜日	時限	2限目
開講時期	1年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	経済学入門の授業として経済学の方法論と分析手法の基礎事項を学び、随時、経済の時事問題を取り挙げ、その見方も考察します。			
-------	---	--	--	--

キーワード	ミクロとマクロ	経済活動の測り方	需要・供給曲線	貿易（輸出と輸入）	財・サービス市場と
-------	---------	----------	---------	-----------	-----------

到達目標	1. 経済学の方法論を理解し、その基本的な分析手法について具体的事例を説明できる。それを踏まえて、2. 経済時事に関する新聞記事等の内容を理解し解説できる。以上を到達目標としています。				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	1. 「人」としての資質・能力（人間性の向上）		4.21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）		
カリキュラムポリシー	1.子ども育成の教養		3.富山の子ども育成		

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
/	/	/	/	/

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
		/	/	/	/

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	経済学の特徴 高校の『政治・経済』と経済と大学の経済学の違い， ミクロとマクロの方法論の意味， 数学、統計学の利用が必要な背景， 経営学との違い，を中心に学びます。	
	【予習】高校時代に「政治・経済」を履修した方は，その経済分野についてざっと読み直して下さい。「政治・経済」を履修されなかった方は経済学という言葉で検索する等，経済学の意味について説明してあるものを読んで下さい。	60分
	【復習】ミクロとマクロという用語の意味について正確に説明できるよう講義プリントを復習しておいて下さい。	60分
第2回	経済分野におけるデータの意味と加工の基本事項 成長率，寄与度の算出， フローとストックの概念， 機首と期末， 弾力性といった基礎概念を学びます。	
	【予習】講義プリントにある定義を自分自身で記述して，その意味を正確に理解するようにして下さい。	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい。特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい。	60分
第3回	大恐慌とマクロ経済学の登場 1929年の大恐慌の発生と終息までをイギリスの記録映画を観ながら理解します。大恐慌を契機とした経済学の課題とマクロ経済学の登場について学びます。	
	【予習】事前に配布した大恐慌の関連資料を読み，当時，どのような解決策が主張されたか論点を整理しておいて下さい。	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい。特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい。	60分
第4回	マクロ経済学の基礎（1） 経済活動の測り方 GDPの定義を中心にマクロの経済活動に関する主要なデータについて算出の方法を学びます。	
	【予習】事前に配布した資料を読み，GDP算出のボンチ絵について自分で作成して下さい。	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい。特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい。	60分
第5回	マクロ経済学の基礎（2） 経済活動の測り方 名目と実質，国際収支，失業率，インフレ・デフレなどマクロの経済に関する主要なデータの意味と解釈について学びます。	
	【予習】事前に配布した資料を読み，名目と実質のデータの意味とインフレ・デフレの関係を確認して下さい。	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい。特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい。	60分
第6回	マクロ経済学の基礎（3） 財政の役割 経済学では財政とは何を意味し，財政政策の役割は何かの概論を学びます。	
	【予習】事前に配布した資料を読み，財政学とか公共経済学とは何を指すかの概要を掴んで下さい。	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい。特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい。	60分
第7回	マクロ経済学の基礎（4） 金融の役割 経済学では金融とは何を意味し，金融政策の役割は何かの概論を学びます。	
	【予習】事前に配布した資料を読み，資本市場とは何を指すかの概要を掴んで下さい。	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい。特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい。	60分
第8回	ミクロ経済学の基礎（1） 需要曲線とは何か 効用の意味と需要曲線の意味を理解し，それを用いた分析方法を学びます。	
	【予習】事前に配布した資料を読み，限界効用，買い手の付け値等の用語の意味を理解して下さい。	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい。特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい。	60分

第9回	<p>ミクロ経済学の基礎(2) 供給曲線とは何か 費用の意味と供給曲線の意味を理解し、それを用いた分析方法を学びます。</p>	
	【予習】事前に配布した資料を読み、限界費用、売り手の付け等の用語の意味を理解して下さい。	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい。特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい。	60分
第10回	<p>ミクロ経済学の基礎(3) 効率的な資源配分とは何か 効率的な資源配分、市場の失敗といった諸概念を学びます</p>	
	【予習】事前に配布した資料を読み、GDP算出のボンチ絵について自分で作成して下さい。	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい。特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい。	60分
第11回	<p>産業構造論の基礎 産業分類の考え方から産業構造の変化の要因について 産業分類の考え方と様々な分類方法を知り、サービス化の進展等、産業構造の変化の実態とその要因について学びます。</p>	
	【予習】事前に配布した資料を読み、ベティ・クラークの法則など重要な用語は覚えてしまして下さい。	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい。特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい。	60分
第12回	<p>国際貿易の基礎 絶対優位と比較優位、資本と労働の存在量を考慮した分析 貿易とは何か、なぜ貿易が生じるのか、リカードの絶対優位と比較優位の考え方を学び、さらに労働集約的と資本集約的の概念を用いて考察を深めます。</p>	
	【予習】事前に配布した資料を読み、絶対優位と比較優位の考え方について理解しておいて下さい。	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい。特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい。	60分
第13回	<p>機会費用と埋没費用 機会費用と埋没費用の考え方を具体的な事例を通して学び、貿易や投資など様々な活動にどう適用できるか考察します。</p>	
	【予習】事前に配布した資料を読み、機会費用と埋没費用を自分の言葉で説明できるようにして下さい。	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい。特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい。	60分
第14回	<p>経済政策の論点：大きな政府と小さな政府 大きな政府と小さな政府のどちらが良いかは長年の争点です。これについて公的医療保険の是非を巡るアメリカの映画を観て考えます。</p>	
	【予習】事前に配布した映画に関する資料を読み、先進国で唯一公的医療保険が無いと言われたアメリカの公的保険に対する考え方の背景を把握して下さい。	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい。特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい。	60分
第15回	<p>現在の日本経済の論点について 財政赤字の累積と少子高齢化、非正規雇用の拡大等、現在の日本経済の課題は密接に関連している事を学びます。</p>	
	【予習】事前に配布した資料を読み、ストック面での財政赤字の規模、少子高齢化が貯蓄率に及ぼす影響等について理解して下さい。	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい。特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい。	60分
第16回	<p>期末試験、第1回～第15回までの内容について試験を実施します。</p>	
	【予習】授業中に実施した練習問題の内、特に重要なものは事前に周知しますので、準備して下さい。	60分
	【復習】後日、試験答案は返却し、正解の解説も配布しますので、間違えた箇所はなぜ間違えたのか等を確認して下さい。	60分

評価方法	毎回、授業の最後に課題を記述してもらいます。その内容で評価した45点と期末試験（55点満点）の合計で評価します。		
使用資料 <テキスト>	無し	使用資料 <参考図書>	（入手の必要はありません）木暮太一著『社会人のためのやりなおし経済学』日本経
授業外学修等	ほぼ毎回、資料を配布しますがその全てを授業で取り挙げません。授業で取り挙げなかった部分は各自で読んでおいて下さい。		
授業外質問方法	担当教員の勤務校のメールアドレス（oyaizu@eco.u-toyama.ac.jp）に送って下さい。		
オフィス・アワー	授業終了時間から5分程度は教室に残っていますので、その時に質問・相談等を直接お話し下さい。		